

家庭内のライフラインの確保

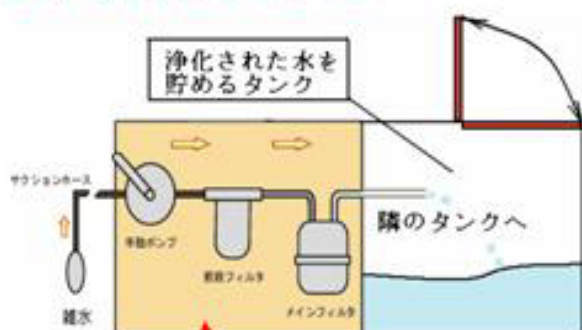
・生活用水を対象として

テーマ選定理由

- ・地震対策の内、特に対策が困難で生活に必要な生活用水を確保する必要があり、またこれは野々市町の推奨テーマでもある
- ・自分たちのアイデアが町に貢献できる

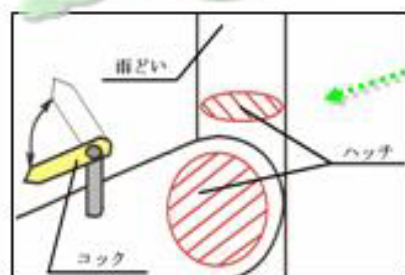
設計仕様

検証可能な評価項目	単位	測り方
水を使用出来るまでの時間	時間	平日以内には使用出来るよう
溜めする水の量	ℓ	一人に対して3日間分
被災時に使用できるか	%	80%以上の確率で使用出来る
必要なコスト	¥	最高でも60万円以下

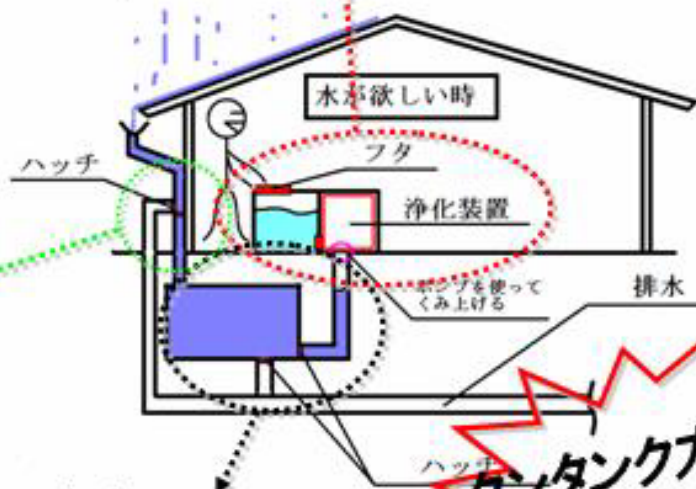
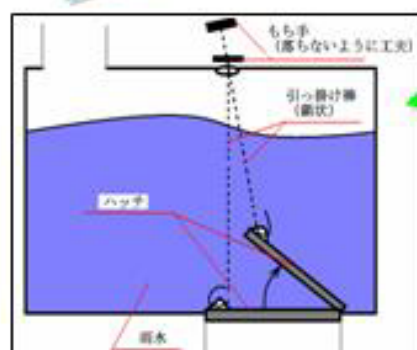


手動ポンプで水を汲み上げ、前段フィルタで大部分の浄化をして、メインフィルタで二回目の浄化をして飲み水にします。

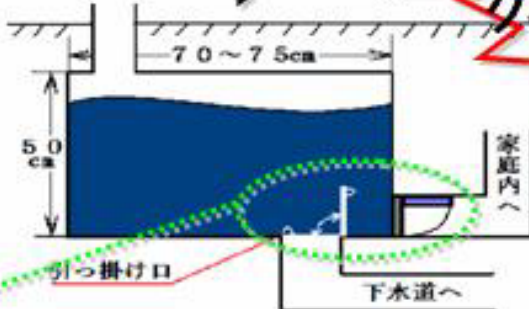
ハッチの近くに設置されたコックを90度回転させて2つのハッチを開く。2つのハッチは片方が開くと片方が閉じる仕組みになっている。



お風呂の栓を抜くのとほぼ同じ方式で、ハッチの引っ掛け部分に棒をかけて、ハッチを開ける。



タンク方式



- ・タンクの大きさはポリタンク3つ分で、タンク内は自由に貯水・排水・取水が可能で、水の劣化を防止できる。
- ・災害時を考慮してタンクは地下に設置する。

全沢工業大学
100年度 工学設計エ
7の2号テーマ:家庭内のライフラインの確保
クラス番号:VA20
チーム番号:4
チーム名:清流王
チームメンバー: 池谷 剛 松口 哲司
寺根 悠太 西山 陽一
古川 隼 前川 彰純
藤田 健司
担当教員名: 藤井 悠雄